

PRESS RELEASE

新国立劇場バレエ団

ニューイヤール・バレエ

『A Million Kisses to my Skin』<新制作>、

『シンフォニー・イン・C』ほか

New Year
The National Ballet of Japan

Ballet

Symphony in C
Choreography by George Balanchine
©School of American Ballet



NATIONAL
BALLET
OF JAPAN

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

新春は珠玉の作品を楽しむ

2023年の新春は2021年から上演延期となった『A Million Kisses to my Skin』、バランシンの名作『シンフォニー・イン・C』、世界を代表するプリンシパルたちのゲスト出演によるパ・ド・ドゥと華やかなプログラムでお届けします。新年を祝うのに相応しい、個性豊かな珠玉の作品が揃いました。どうぞ多彩なバレエの世界をご堪能ください。

プログラム

A Million Kisses to my Skin <新制作>

英国の振付家デヴィッド・ドウソンによる作品で、2000年にオランダ国立バレエで初演されました。ドウソンはプログラムノートで、この作品でクラシックバレエダンサーとしてのキャリアに別れを告げ、新たな表現を目指したと語っています。バッハのピアノコンチェルトにのせて踊られる、バランシンを思わせるネオ・クラシック・スタイルのバレエは見るものを魅了します。

【振付】 デヴィッド・ドウソン

【音楽】 ヨハン・ゼバスティアン・バッハ



Photo by Ian Whalen

『眠れる森の美女』第3幕よりグラン・パ・ド・ドゥ

【振付】 マリウス・プティパ

【音楽】 ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

【衣裳】 ルイザ・スピナテッリ

【出演】 ヤスミン・ナグデイ、マシュー・ボール (英国ロイヤルバレエ)



©Andrej Uspenski

『ドン・ジュアン』(抜粋)

【振付】 ジョン・ノイマイヤー

【音楽】 クリストフ・ヴィリバルト・グルック、
トマス・ルイス・デ・ビクトリア

【衣裳】 フィリッポ・サンジュスト

【出演】 アリーナ・コジョカル
(ハンブルク・バレエ ゲストダンサー)
アレクサンドル・トルーシュ
(ハンブルク・バレエ)



©Andrej Uspenski

シンフォニー・イン・C

1947年パリ・オペラ座に客員振付家として招かれたバランシンが、フランス人作曲家ビゼー作曲「交響曲第1番ハ長調 (in C)」に振付けた、筋のない1幕バレエ作品です。パリ・オペラ座バレエ団では『水晶宮』というタイトルで初演され、翌年ニューヨーク・シティ・バレエが上演した際、女性ダンサーが全員白いクラシック・チュチュを着て踊り、『シンフォニー・イン・C』と改題されました。変化する曲想にあわせて、4つの楽章ごとにプリンシパル一組、ドゥミ・ソリスト二組、コール・ド・バレエが登場します。軽快な第1楽章、叙情的な第2楽章、躍動的な第3楽章、そして第4楽章から出演者全員が勢揃いする華やかなフィナーレへと続きます。バランシン特有の素早く美しい動きを駆使し、最後は独特な高揚感に包まれる名作です。

The Performance of Symphony in C, a Balanchine® Ballet, is presented by arrangement with The School of American Ballet and has been produced in accordance with the Balanchine Style® and Balanchine Technique® Service standards established and provided by The George Balanchine Trust.

- 【振付】 ジョージ・バランシン
- 【音楽】 ジョルジュ・ビゼー
- 【衣裳】 大井昌子
- 【照明】 磯野 睦

2018年公演より
撮影：鹿摩隆司



【出演】

第1楽章	米沢 唯、福岡雄大 (13日、14日 18:00) 柴山紗帆、福岡雄大 (14日 13:00、15日)
第2楽章	小野絢子、井澤駿 (全日)
第3楽章	池田理沙子、木下嘉人 (13日、14日 18:00) 廣川みくり、木下嘉人 (14日 13:00、15日)
第4楽章	木村優里、中家正博 (全日)

【指揮】 ポール・マーフィー

【管弦楽】 東京交響楽団

スタッフプロフィール

【A Million Kisses to my Skin 振付】 デヴィッド・ドウソン David DAWSON

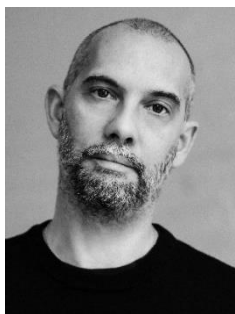


Photo by Oliver Look

ロンドン生まれ。英国ロイヤルバレエ学校卒業後、91年ローザンヌ国際バレエコンクール入賞、同年バーミンガム・ロイヤルバレエに入団。94年イングリッシュ・ナショナル・バレエにソリストとして入団、翌年オランダ国立バレエに移籍。2000年にはフランクフルト・バレエ団に移り、ウィリアム・フォーサイスの作品を踊る。同バレエ団で2年余りダンサーとして活躍後、振付家としての活躍を開始した。今日のクラシックバレエ界における最も優れた英国人振付家の一人で、現代的な手法でクラシックバレエを振り付け、彼の著名な作品群は世界中で上演され高い評価を得ている。

『The Grey Area』でブノワ賞振付部門受賞、同作品で英国舞踊批評協会賞にノミネート、マリインスキー劇場バレエのために振り付けた『Reverence』で英国人振付家初となる、ロシアの舞台芸術における最も権威のあるゴールデン・マスク賞を受賞するなど数々の賞を受賞している。

【ドン・ジュアン 振付】 ジョン・ノイマイヤー John NEUMEIER

ウィスコンシン州ミルウォーキー生まれ。マケット大学で英文学・演劇学を専攻する傍ら、シカゴのバレエ学校にも通う。大学卒業後、英国ロイヤル・バレエ・スクールでもバレエを学び、1963年にシュツットガルト・バレエに入団。ソリストに昇進しダンサーとして踊りながら、振付家としても活動する。69年にフランクフルト・バレエの芸術監督に就任し、『くるみ割り人形』『ロメオとジュリエット』などを振り付け、成功を収める。73年にはハンブルク・バレエの芸術監督兼首席振付家に就任。ドイツを代表するカンパニーへと成長させ、国際的な評価を受ける。その他、英国ロイヤルバレエ、パリ・オペラ座バレエ、アメリカン・バレエ・シアター、カナダ・ナショナル・バレエなど世界中のバレエ団に作品を提供。78年ハンブルク・バレエ学校を創立。2006年、ジョン・ノイマイヤー財団を設立。11年にはドイツのナショナル・ユース・バレエを設立。ハンブルク・バレエのための最新作には、『眠れる森の美女』（新プロダクション、2021年）『ハムレット 21』（2021年）『ベートーヴェン・プロジェクト II』（2021年）などがある。

【シンフォニー・イン・C 振付】 ジョージ・バランシン George BALANCHINE



1904年サンクトペテルブルグ生まれ。帝室バレエ学校に学ぶ。21年に国立オペラ・バレエ（現マリインスキー劇場バレエ）に入団、前衛振付家として頭角をあらわす。並行して、ペトログラード音楽院で音楽理論とピアノを学んだ。24年同僚ダンサーと巡業中だったパリで、ディアギレフのバレエ・リュスに入団する。29年に同団が解散するまで、『アポロ』『放蕩息子』など10作を振付けた。33年に渡米、リンカン・カースティン等とスクール・オブ・アメリカン・バレエを開校する。48年に発足したニューヨーク・シティ・バレエを終生の活動拠点とし、アブストラクト・バレエを主体とする、スピード感溢れる清新なスタイルを確立した。アメリカを代表する振付家であるだけでなく、20世紀の最も重要な振付家の一人。83年ニューヨークにて死去。

【指揮】 ポール・マーフィー Paul MURPHY



バーミンガム・ロイヤルバレエとそのオーケストラ、ロイヤル・バレエ・シンフォニアの首席指揮者。劇場での公演に加え、コンサートや収録でも共に仕事をしている。1994年以来、ロイヤルオペラハウス管弦楽団と定期的に仕事をしている。その他、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ハレ管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、BBC ナショナル・ウェールズ管弦楽団、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、BBC コンサート・オーケストラ、オペラ・ノース管弦楽団、バーミンガム市交響楽団等、英国の優れたオーケストラを多数指揮している。海外では、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ワシントン・ナショナル・オペラ管弦楽団、ソフィア・オペラ管弦楽団、シチリアのテアトロ・マッシモ管弦楽団等と仕事をしている。また、ニューヨーク・シティ・バレエ、バレエ・アム・ライン、ロイヤル・フランダース・バレエ、オランダ国立バレエ、最近ではオーストラリア・バレエのゲスト指揮者を務めている。CD のリリースではハレ管弦楽団（サン・サーンスのピアノと管弦楽曲全曲）、ロイヤル・バレエ・シンフォニア、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との共演がある。97年、英国王立音楽院のアソシエイトに選ばれた。新国立劇場では、『アラジン』『カルミナ・ブラーナ』『ガラントゥリーズ』『火の鳥』『シンフォニー・イン・C』『ペンギン・カフェ』『パゴダの王子』『白鳥の湖』ほかを指揮している。

ダンサープロフィール

【ゲストダンサー】 ヤスミン・ナグディ Yasmine NAGHDI <英国ロイヤルバレエ プリンシパル>



©Andrej Uspenski

ロンドン生まれ。ロイヤル・バレエ・スクールを経て、2010年にアーティストとして入団。12年にファースト・アーティスト、14年にソリスト、16年にファースト・ソリスト、17年にプリンシパルに昇格した。主なレパートリーは、『白鳥の湖』オデット/オディール、『眠れる森の美女』オーロラ、『ロメオとジュリエット』ジュリエット、『オネーギン』タチアナ、ジゼル、『ドン・キホーテ』キトリ、『コッペリア』スワニルダ、『マイヤーリンク』マリー・ヴェツェラ男爵令嬢、マリー・ラリッシュ伯爵夫人、『くるみ割り人形』金平糖の精、『ライク・ウォーター・フォー・チョコレート』ティタ、バランシン『アポロ』テルプシコーラ、『ジュエルズ』『タランテラ』『テーマとヴァリエーション』『セレナーデ』などがあり、ウェイン・マクレガーとクリストファー・ウィールドンの作品にも数多く出演している。09年の「ヤング・ブリティッシュ・ダンサー・オブ・ザ・イヤー」コンクールで優勝。18年クリティックス・サークル・ナショナル・ダンスでベスト・フィメールダンサーにノミネートされた。

【ゲストダンサー】 マシュー・ボール Matthew BALL <英国ロイヤルバレエ プリンシパル>



©Andrej Uspenski

リバプール生まれ。11歳でロイヤル・バレエ・スクールに入学し、スクール・アワードを経て卒業。2013/2014シーズンにカンパニーに入団し、15年にファースト・アーティスト、16年にソリストに昇格。17年にファースト・ソリスト、18年にプリンシパル・ダンサーに昇格。ウェイン・マクレガー、クリスタル・パイト、クリストファー・ウィールドン、ホフェッシュ・シェクター、シディ・ラルビ・シェルカウイ、キム・ブランドストラップ、そしてキャシー・マーストンなど、著名な振付家とのクリエイションに参加している。近年は、ニック・ナイト、ガレス・ビュー、Erdem、British Vogueとのコラボレーションや、King Kong Magazine、Esquire、Hero、Man About Townでの特集など、いくつかのファッションや映画プロジェクトに取り組み、異なる分野に手を広げている。映画では、ベネファザー・プロダクションのダンス短編映画2本に出演し、長編映画「Romeo and Juliet Beyond Words」ではティボルトを演じている。

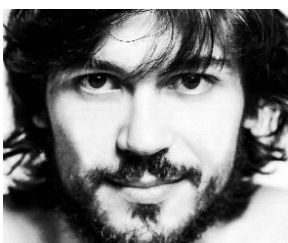
【ゲストダンサー】 アリーナ・コジョカル Alina COJOCARU <ハンブルク・バレエ ゲストダンサー>



©Morgan Norma

ブカレスト生まれ。キエフでバレエを始め、1997年にロイヤル・バレエ・スクールに入学。卒業後キエフに戻り、プリンシパル・ダンサーとしてカンパニーの一員となる。99年ロイヤル・バレエ・カンパニーに入団し、シーズン終了後にはソリストに昇格。2001年、サー・アンソニー・ダウエルは、「ジゼル」の演技を評価し、アリーナをプリンシパル・ダンサーに昇格させた。13年、イングリッシュ・ナショナル・バレエにリーディング・プリンシパル・ダンサーとして入団し、20年まで同団で活動する。ENBのメンバーでありながら、世界中のカンパニーにゲストアーティストとして出演し続け、ハンブルク・バレエ団には常任のゲストダンサーとして出演している。ルーマニアとロンドンでガラを開催している。12年には、自ら演出・演出した「アリーナ・コジョカル・ドリーム・プロジェクト」を東京で初演し、14年には第2回、そして2020年に第3回が開催された。15年リンカーンセンターNYにてチャリティ・ガラ公演を開催。20年、サドラーズ・ウェルズ劇場で“Alina at Sadlers Wells Theatre”をプロデュース。

【ゲストダンサー】 アレクサンドル・トルーシュ Alexandr TRUSCH <ハンブルク・バレエ プリンシパル>



©Holger Badekow

ドニプロ生まれ。ハンブルク・バレエ学校を経て、2007年にハンブルク・バレエに入団。10年にソリストに昇格し、14年よりプリンシパル。主なレパートリーは『ヨセフの伝説』ヨセフ、『ダフニスとクロエ』ダフニス、『ニジンスキー』ヴァスラフ・ニジンスキー、レオニード・マシーン、『幻想-白鳥の湖のように』王、『椿姫』デ・グリユー、『ロメオとジュリエット』ロメオ、『ジゼル』アルブレヒト、『シルヴィア』アミンタ、『眠れる森の美女』カタラビュート（新版2021年版）、『ドン・キホーテ』バジル、『冬物語』フロリゼル王子、『交響曲第4番』『ノクターン』『交響曲第3番』『聖マタイ受難曲』『Vaslav』『大地の歌』『兵士の歌』『交響曲第5番』など。10年ヴィルヘルム・オーバーデールファー賞受賞。

井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>



群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。

小野 絢子 ONO Ayako <プリンシパル>



東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。

木村 優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>



千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『 Coppélia』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主役を踊り好評を博した。22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。

福岡 雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>



大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17、19年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞。

米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>



愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。

池田理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>



東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009 年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。K バレエカンパニーを経て、16 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し 19 年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『ジゼル』や F.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』などで主役を踊り好評を博している。

木下嘉人 KINOSHITA Yoshito <ファースト・ソリスト>



京都府出身。寺田バレエ・アートスクールで寺田博保のもとバレエを始め、キーウ国立バレエ学校で学ぶ。ドネツク・バレエにてワジム・ピーサレフに師事し、チューリッゲン・バレエ、ライプツィヒ・バレエ、ザルツブルク州立劇場バレエ団でソリストとして活躍した。2015 年に帰国し新国立劇場バレエ団にファースト・アーティストとして入団。16 年ソリスト、21 年ファースト・ソリストに昇格。「こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』」の主役のほか、マクミラン『ロメオとジュリエット』マキューシオ、『マノン』レスコー、ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル／白ウサギ、中村恩恵『火の鳥』タイトルロールなど主要な役を踊っている。

柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <ファースト・ソリスト>



東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014 年に新国立劇場バレエ団に入団。15 年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』『ジゼル』、F.アシュトン『シンデレラ』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主役のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ王女、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなど主要な役柄を踊っている。21 年ファースト・ソリストに昇格。

中家正博 NAKAYA Masahiro <ソリスト>



大阪府出身。法村友井バレエ学校、ワガノワバレエ学校を経て、2010 年牧阿佐美バレエ団に入団。プティ『ノートルダム・ド・パリ』のフロロ役に抜擢され、『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『ジゼル』に主演。15 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、16 年『ドン・キホーテ』で主役のバジルを踊った。また F.アシュトン『シンデレラ』王子、P.ダレル『ホフマン物語』リンドルフ、W.イーグリング『くるみ割り人形』ドロツセルマイヤー、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ティボルト、『マノン』ムッシューG.M.、M.フォーキン『ペトルーシュカ』ムーア人など様々な役を演じている。

廣川みくり HIROKAWA Mikuri <ファースト・アーティスト>



岡山県出身。堤ゆみ子バレエ研修所、岡山バレエカンパニーを経て、2012 年新国立劇場バレエ研修所に予科生として入所。16 年に卒業後、新国立劇場バレエ団に入団。21 年ファースト・アーティストに昇格。W.イーグリング『くるみ割り人形』花のワルツ ソリスト、『眠れる森の美女』歓びの精、サファイア、『ライモンダ』クレメンス、P.ライト『白鳥の湖』クルティザンヌ、吉田都『ジゼル』モイナなどを踊っている。

公演概要

2022/2023 シーズン

新国立劇場バレエ団「ニューイヤー・バレエ」

A Million Kisses to my Skin／シンフォニー・イン・C／

『眠れる森の美女』第3幕よりグラン・パ・ド・ドゥ／『ドン・ジュアン』（抜粋）

New Year Ballet

A Million Kisses to my Skin / Symphony in C / "The Sleeping Beauty", Grand Pas de Deux / "Don Juan" (Excerpt)

芸術監督 吉田 都

A Million Kisses to my Skin <新制作>

【振付】 デヴィッド・ドウソン
【音楽】 ヨハン・ゼバスティアン・バッハ
【美術】 デヴィッド・ドウソン
【衣裳】 竹島由美子
【照明】 バート・ダルハイゼン

『眠れる森の美女』第3幕よりグラン・パ・ド・ドゥ

【振付】 マリウス・プティパ
【音楽】 ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
【衣裳】 ルイザ・スピナテッリ

シンフォニー・イン・C

【振付】 ジョージ・バランシン
【音楽】 ジョルジュ・ビゼー
【衣裳】 大井昌子
【照明】 磯野 睦

『ドン・ジュアン』（抜粋）

【振付】 ジョン・ノイマイヤー
【音楽】 クリストフ・ヴィリバルト・グルック、
トマス・ルイス・デ・ビクトリア
【衣裳】 フィリッポ・サンジュスト

指揮 ポール・マーフィー

管弦楽 東京交響楽団

出演 新国立劇場バレエ団
ヤスミン・ナグデイ、マシュー・ボール（英国ロイヤルバレエ）
アリーナ・コジョカル、アレクサンドル・トルーシュ（ハンブルク・バレエ）

【公演日程】

2023年 1月13日（金）19:00
1月14日（土）13:00
1月14日（土）18:00
1月15日（日）14:00

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、託児サービス、バックステージツアーは当面休止させていただきます。

*ロビー開場は開演 60 分前、客席開演は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約 2 時間（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/newyearballet/>

【チケット料金（税込）】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金（税込）	11,000 円	8,800 円	6,600 円	4,400 円	3,300 円	1,650 円

*Z 席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z 席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1 人 1 枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2022 年 11 月 12 日（土）10:00～15 日（火）

新国メンバーズ先行販売期間：2022 年 11 月 13 日（日）10:00～15 日（火）

一般発売日：2022 年 11 月 23 日（水・祝）10:00～

*感染予防に対応した適切な距離を保つため、1 階 1 列～2 列の座席は販売いたしません。

*通常の座席配置（1 階 1 列～2 列を除く）での販売を予定しております。

*政府及び東京都の判断により、イベント収容率の制限に変更が生じた場合は、途中でチケットの販売を停止する場合がございます。

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

*年末年始のボックスオフィスの営業時間につきましては web サイトをご確認ください。

*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

詳細：新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html